

海洋理工学会 平成 24 年度 春季大会

日時：平成24年 5 月 24 日(木)25 日(金)

場所：東京海洋大学楽水会館 鈴木ホール(東京都港区港南 4-5-7)

プログラム:

5 月 24 日(木) 10:00 - 19:30 一般講演・シンポジウム

10:00-11:20 **一般講演1 機器開発** 座長 月岡 哲 (JAMSTEC)

- A1. 作業型 AUV「おとひめ」の開発と展望
石橋正二郎 ○大田 豊・吉田 弘・百留忠洋・中谷武志・菅澤 誠 (JAMSTEC)
- A2. 可搬式マルチチャンネル反射法探査システムの導入
○三浦誠一・大渡祐樹・月岡 哲 (JAMSTEC) 伊藤 誠 (日海事)
- A3. 有人潜水調査船「しんかい6500」の操縦・運動性能向上
○小椋徹也 (JAMSTEC) 齋藤文誉 (日海事)
- A4. 深海探査機用カメラシステムの開発
○菅澤 誠 (JAMSTEC) 竹村 博(日放電子)

シンポジウム「海からの再生可能エネルギーの課題」

- 13:30-13:40 S1. 海からの再生可能エネルギー取り出し技術と沿岸環境アセスメント
中田喜三郎 (名城大)
- 13:40-14:20 S2. 日本の海洋再生可能エネルギーのポテンシャル 山田博資 (みずほ情報総研)
- 14:20-15:00 S3. 海洋温度差発電の動向と課題 ～安定的な再生可能エネルギーへの挑戦～
池上康之 (佐賀大)
- 休憩
- 15:20-16:00 S4. 波力発電の大規模展開の可能性と課題 宮崎武晃 (海洋エネルギーエンジニアリング)
- 16:00-16:40 S5. 海洋再生可能エネルギー政策の課題 朝野賢司 (電中研)
- 16:40-17:10 総合討論

17:30-19:30 イブニングセッション

5 月 25 日(金) 9:30 - 17:00 一般講演

9:30-11:30 **一般講演2 新観測技術・生物生態観測技術** 座長 秋葉龍郎 (産総研)

- A5. *Oithona davisae* の微視的捕食行動の観察
○秋葉龍郎 (産総研/海洋大) 程婉婷・田中祐志 (海洋大)
- A6. 吸い込み流速場に対する *Oithona davisae* の逃避行動の観察
○劉宝波・夏樹娟・田中祐志 (海洋大) 秋葉龍郎 (産総研/海洋大)
- A7. 生物音響研究のための鳴音コンター抽出ソフトウェアの開発と適用
○小見山桜楽 (京大院) 市川光太郎 (地球研) 荒井修亮 (京大院)
- A8. タイ国タリボン島周辺海域におけるジュゴン発声行動の周期性
○松尾侑紀 (京大院) 市川光太郎 (地球研) 溝端紀子・荒井修亮 (京大院)
- A9. バイオロギングの運動に関する時系列データから繰り返しパターンを発見する手法の開発
○野田琢嗣・奥山隼一・荒井修亮 (京大院)
- A10. Aquarius 衛星で観測された海面塩分の精度評価
○江淵直人・阿部泰人 (北大低温研)

11:30-12:10 総会・学会賞表彰

昼休み

13:00-13:40 ポスターセッション

P1. 有害化学物質生物蓄積モデル Windows(γ)版 Ver.2.0

○柳田圭悟・江里口知己 (SAT) 堀口文男 (産総研)

P2. 海域生物の食の安全評価モデルプロトタイプの開発

堀口文男 (産総研) ○柳田圭悟・江里口知己 (SAT)

P3. CO₂による海水の酸性化が有機物-微生物間プロセスへ与える影響

○山田奈海葉・鶴島修夫・鈴木昌弘 (産総研)

P4. 製鋼スラグと浚渫土により造成した干潟・藻場生態系内の物質フローの解明 —無機栄養塩の挙動および pH 変動に関する基礎的実験—

○塚崎あゆみ・鶴島修夫・鈴木昌弘 (産総研)

P5. MODIS によるメキシコ湾の原油流出範囲の解析

○柴田政明・荒船真澄・土居七奈美・岩崎杉紀 (防衛大)

P6. 潮位の長期的変動と特徴

○土居七奈美・柴田政明・岩崎杉紀 (防衛大)

P7. サンマの成長過程を考慮した資源動態モデルの開発

○大野創介・伊藤進一・佐藤政俊・寛 茂穂・巢山 哲・中神正康 (東北水研) 亀田卓彦 (西海水研) 安倍大介 (中央水研)

P8. 沿岸域炭素収支評価等に適した海水中炭酸系パラメータの簡易測定手法の検討

○鶴島修夫 (産総研)

P9. 有人潜水調査船「しんかい6500」の操縦・運動性能向上

小椋徹也 (JAMSTEC)・○齋藤文誉 (日海事)

13:40-15:00 一般講演3 リスク評価

座長 畑 恭子 (いであ)

A11. アクティブ試験前の六ヶ所村大型再処理施設周辺における湖底堆積物中の放射性核種蓄積量

○植田真司・大塚良仁・久松 俊 (環境技研)

A12. 東京湾における鉛はんだのリスクトレードオフ評価

○大野創介・恒見清孝・川本朱美・石川百合子・堀口文男 (産総研)

A13. 東京湾における鉛および銅の生態リスクに関する研究

○亭島博彦 (海生研) 江里口知己・柳田圭悟 (SAT) 堀口文男 (産総研)

A14. 有害化学物質生物蓄積モデルによるシロギス体内の重金属濃度推定

○江里口知己 (SAT) 堀口文男 (産総研) 中田喜三郎・高倍昭洋 (名城大)

休憩

15:10-16:30 一般講演4 生態系モデル

座長 江里口知己 (SAT)

A15. 海洋生物に対するメタンの影響評価

○平田敦洋・畠山 孝 (エンジニアリング協会) 鋤崎俊二・鈴木信也 (海生研) 荒田 直 (JOGMEC)

A16. 実験水槽におけるクロロフィル-aの変動解析 (II)

○畑 恭子 (いであ)

A17. 集水域モデルを利用した陸奥湾に流入する河川流量の算定

○沓掛洋志・舘野 聡・竹内一浩 (いであ) 伊藤進一・寛 茂穂・和川 拓 (東北水研)

A18. 三河湾におけるアサリ浮遊幼生貧酸素影響モデルの開発

○市川哲也・田中啓介 (SAT) 堀口敏宏 (環境研) 蒲原 聡・山田 智 (愛知水試) 鈴木輝明 (名城大)